

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【公開番号】特開2010-28794(P2010-28794A)

【公開日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-91829(P2009-91829)

【国際特許分類】

H 0 3 L 7/26 (2006.01)

【F I】

H 0 3 L 7/26

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月2日(2012.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガス状の金属原子を励起する励起光を出射する光源と、
両端が開口している筒状の部材、前記一方の開口を封鎖している第 1 の部材、及び前記
他方の開口を封鎖している第 2 の部材を有し、前記筒状の部材、前記第 1 の部材、及び前
記第 2 の部材で閉鎖されている内部空間に前記ガス状の金属原子が封入されたガスセルと

、
前記第 1 の部材の外側に備えられている第 1 の加熱手段と、
前記第 2 の部材の外側に備えられている第 2 の加熱手段と、
前記第 1 の加熱手段及び前記第 2 の加熱手段を制御する温度制御回路を有している基板
と、
前記第 1 の加熱手段と前記基板とを接続する第 1 の配線と、
前記第 2 の加熱手段と前記基板とを接続する第 2 の配線と、
前記第 1 の加熱手段と前記第 2 の加熱手段を接続している第 3 の配線と、を備えている
こと特徴とする原子発振器。

【請求項 2】

前記第 3 の配線が前記筒状の部材の外面に備えられていることを特徴とする請求項 1 に
記載の原子発振器。

【請求項 3】

前記第 3 の配線が前記筒状の部材の外面を加熱するものであることを特徴とする請求項
2 に記載の原子発振器。

【請求項 4】

前記第 1 の加熱手段、及び前記第 2 の加熱手段は透明発熱体である請求項 1 乃至 3 のい
ずれか一項に記載の原子発振器。

【請求項 5】

前記ガス状の金属原子に発生する電磁誘起透明化現象を利用した請求項 1 乃至 4 のい
ずれか一項に記載の原子発振器。